

大学組織を理解する

■講師



中井 俊樹(愛媛大学 教育・学生支援機構 教育企画室 教授)
専門は大学教育論、人材育成論。1998 年に名古屋大学高等教育研究センター助手、2007 年に准教授、2015 年より現職。著書に、『大学の FD Q&A』(共編著)、『アクティブラーニング』(編著)、『看護のための教育学』(共編著)、『看護現場で使える教育学の理論と技法』(編著)、『大学の IR Q&A』(共編著)、『大学の教務 Q&A』(共編著)、『大学教員のための教室英語表現 300』(編著)、『大学教員準備講座』(共著)、『成長するティップス先生』(共著)などがある。



宮林 常崇(公立大学法人首都大学東京 教務課教務係長)
修士(経済学)、民間企業を経て、平成 22 年 4 月公立大学法人首都大学東京へ入職、自己点検・評価、DP・CP 策定、全学共通教育の再体系化、国際副専攻プログラムの立ち上げ等に従事し、平成 26 年 4 月から現職。平成 28 年 6 月から、公立大学協会第 3 委員会「教職員の資質向上に関するワーキンググループ」委員を務める。著書に、『大学の教員免許業務』(分担執筆)がある。

■プログラム概要

大学という組織は、大学以外の組織と異なるとよく言われます。大学組織は他の組織とどのような点で異なるのでしょうか。限られた資源の中で新たな取り組みをスタートさせるためには、トップの強力なリーダーシップ以外にどのような手段が有効になるのでしょうか。

本セッションでは、大学という組織がどのような論理で動いているのかについて深く理解する機会をつくります。大学教員、大学職員、大学組織の論理を理解した上で、実際の組織運営に応用する力を身につけます。つまり、大学組織を客観的に理解することで、組織の力をどのように引き出し、活かせばよいかについて考えるきっかけとします。

■主な受講対象

教職員。大学組織は他の組織とどのような点で異なるのか、個々の教職員はどのような力によって動いているのか、大学の構成員はどのような組織風土を大切にしているのか、大学では誰が実質的に意思決定しているのか、大学ではどのようなリーダーシップが有効なのかなどの疑問を持っている方を歓迎いたします。

■本プログラムの到達目標

1. 大学教員および大学職員の特徴を理解し、自分の言葉でまとめることができる。
2. 大学の組織的特徴を理解し、自分の言葉でまとめることができる。
3. 大学組織の論理を理解し活用できる枠組みを身につけることができる。
4. 大学教員および大学職員の思考を理解し、組織運営に活用することができる。
5. 大学組織に関する多様な考え方や経験で培った事例を尊重し、共に学びあう雰囲気に参加することができる。

■日時・会場

日時: 平成28年8月24日(水) 10:00～12:00

会場: 愛媛大学城北キャンパス